



環境フェスティバルふくおか実行委員会 御中

環境フェスティバル ふくおか2025

実施報告書

株式会社アノンセ



全体概要 P3

全体会場図 P4

啓発イベント

- 人力発電ミニS L体験 \New/ P5
- 未来エネルギー体験カフェ \New/ P6
- 次世代自動車展示 P7
- ふくおかりユースマルシェ \New/ P8
- 車型タイムマシンレプリカ展示・撮影会 P9
- 水素バス「Moving e」展示・乗車体験 \New/ P10
- 一人一花・Fukuoka Flower Show連携イベント P11
- FCパッカー車ごみ投入体験 P12
- ゴみごみ分別バスケットボール P12
- 出展団体・企業/ふれあい広場 P13
- クイズスタンプラリー P14
- アンケートに関して P15

ステージイベント P16~P19

会場発着ツアー・ワークショップ P20~P23

実施概要

- 【01】博多大丸サステナビリティ見学ツアー
- 【02】～ガサでたずねて山川里～樋井川リパークエスト
- 【03】日本ミツバチの「博多ハニー」採蜜体験ツアー
- 【04】エネルギー出前授業
～電気をつくるしくみを知ろう×暮らしと地球環境を考えよう～
- 【05】こどもエコ・ワークショップ
- 【06】廃材を使ってオリジナルプレートをつくろう
- 【07】家族で学ぶ！熱中症対策セミナー
～からだをまもる水分と塩分のひみつ～
- 【08】環境にも肌にもやさしい石鹸を使って
手洗い実験をしよう！
- 【09】冷たさキープ！
アルミ付きプチプチ®でペットボトルホルダーを作ろう！

福岡市環境行動賞表彰式 P24~P26

アンケート結果

- 啓発イベント P27~P32
- ツアー・ワークショップ P33~P37

広報 P38

制作物一覧 P39~P41

開催主旨

市民団体、事業者、学校、行政の共働により、環境啓発イベントを開催することで、環境保全・創造に関する情報や体験を提供し、市民の行動変容及びライフスタイルの転換を図る。また、環境保全・創造に取り組む市民団体、事業者等の情報交換の場を提供し、各主体が連携しながら活動の環を広げるきっかけを作ることを目的に開催を行った。

コンセプト

みんなの〇（まる）が自由に集まる場

子どもたちが身のまわりの環境について関心をもち(好きになり)、自分にできることを始めるきっかけを提供するとともに、地域・企業・運営スタッフ・環境といったあらゆる関係者にもそれぞれの〇(まる)が自然に同じ場に集まり、広がっていく場づくりを目指し、開催した。



開催概要

- 開催日程 2025年10月25日(土)～2025年10月26日(日)
- 開催場所 福岡市役所西側ふれあい広場
- 開催時間 10時00分～16時00分(両日)
- 開催内容 1.啓発イベント
2.ステージイベント
3.会場発着ツアー・ワークショップ
4.環境行動賞表彰式(10月25日/同時開催)
- 来場者数 二日間計 約23,800名

ブーステーマ

各出展ブースは3つのテーマに分かれて構成された



協賛企業・団体 (50音順)

イオン九州株式会社/株式会社NTTドコモ九州支社/エフコープ生活協同組合/株式会社オーレックホールディングス/花王グループカスタマーマーケティング株式会社/川上産業株式会社/株式会社環境開発/九州電力株式会社/株式会社クラフティア(旧社名:九電工)/蔵田工業株式会社/西部ガスホールディングス株式会社/公益財団法人自動車リサイクル促進センター/株式会社JEPLAN/株式会社セブン-イレブン・ジャパン/大和ハウス工業株式会社九州支社/断熱・省エネルギー推進タスクフォース/株式会社西日本シティ銀行/西日本鉄道株式会社/日本磁力選鉱株式会社/公益財団法人ふくおか環境財団/株式会社福岡銀行/株式会社福岡クリーンエナジー/公益社団法人福岡県産業資源循環協会福岡支部/福岡市地球温暖化対策市民協議会/福岡バイオフィードリサイクル株式会社/LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社

協力企業・団体 (50音順)

大塚製薬株式会社/株式会社博多大丸/NPO法人博多ミツバチプロジェクト/一般社団法人ふくおかFUN株式会社福岡放送/UCC上島珈琲株式会社/ライジングゼファーフクオカ株式会社

人力発電ミニSL

脱炭素に○

New!

燃料を一切使用せずエアロバイクによる人力発電の力だけで走行する環境に優しいミニSLを設置。参加者は「エアロバイク」と「SL」のいずれかに乗車し体験を行う。エアロバイクを漕ぐことにより発電し、その電力によりSLが走行する仕組みとなっている。自分たちの力で電気を生み出し、電車が動く様子を体験することで、電気の大切さについて楽しく学ぶことができる。

- 実施内容:人力発電によりミニSLの車両乗車体験
- 実施日時:両日とも終日 ※体験時間は1回5分程度
- 運営体制:運営AD1名・運営スタッフ5名(計6名)
- 運営方法:事前申し込み不要。対象年齢3,4歳くらい～ ※小学生未満のお子様がSLに乗車の場合は保護者同乗必須
- 参加人数:10月25日(土)382人 10月26日(日)663人 計1045人



エアロバイクをこいで発電し、その電力でミニSLを走らせる体験を実施。見慣れないコンテンツに多くの来場者は足を止めて関心を示していた。保護者が力を合わせて電気を生み、そのエネルギーで子どもたちが乗るSLが動き出す様子は、まさに「エネルギーの力」を実感できる瞬間だった。親子で楽しみながら発電の仕組みについて学べる貴重な機会となり、環境イベントならではの意義深いコンテンツになった。

未来エネルギー体験カフェ 脱炭素に○ New!

次世代エネルギーとしての水素を身近に感じてもらうため、カフェマルシェを開催。次世代自動車展示車両から給電し水素焙煎珈琲や、ポップコーンの振る舞いを実施。提供したコーヒーはUCCの水素焙煎豆を使用、水素エネルギーの活用を体感して楽しんでいただけるコーナーを展開した。

- 実施内容:水素焙煎豆を使用したコーヒーとポップコーンの配布
- 実施日時:両日とも11時・12時・13時・14時・15時 ※各回30分間、なくなり次第終了
- 運営体制:コーヒー専門スタッフ1名(UCC様スタッフ)・運営スタッフ3名 計4名
- 運営方法:各時間に無料配布。
- 配布数
コーヒー:10月25日(土)約600杯/10月26日(日)約500杯 計:約1100杯
ポップコーン:10月25日(土)約300皿/10月26日(日)約400皿 計:約700皿

水素焙煎豆を使用したコーヒーを提供

水素焙煎とは、焙煎時の熱源として水素を使用し、二酸化炭素を排出しないクリーンエネルギーでコーヒー豆を焙煎する方法。環境に配慮しながら、安定した火力で豆本来の風味を引き出すことができる。

提供:UCC上島珈琲株式会社



バガス容器を使用したポップコーンを提供

ポップコーンの提供にはサトウキビの搾りカスをリサイクルした「バガスペーパー」で作られたバガスカップを使用した。



ふれあい広場内はコーヒーとポップコーンの香りに包まれ、配布時間前から多くの来場者が列に並び賑わいを見せた。専門のスタッフが作るコーヒーは人気が高く好評であった。また、展示車両からコーヒーやポップコーン製造機へ直接電力を供給し、その場で調理を行うことで、来場者に次世代自動車の給電能力を実感していただけた。2日目には突如の降雨により一時提供を中断としたものの、終始列が絶えないほどの人気を集めた。

次世代自動車展示会

脱炭素に〇

環境負荷が少ない電気自動車(EV)・プラグインハイブリッド自動車(PHEV)・燃料電池自動車(FCV)などの次世代自動車について、環境面や経済面などを含めた長所や利便性をより多くの市民・事業者に知っていただくため、最新車両の展示と展示車両からの給電パフォーマンスを実施した。

- 実施内容:次世代自動車の展示・紹介・給電パフォーマンス
- 実施日時:両日とも終日(給電パフォーマンスは次ページ参照)
- 運営体制:各メーカー様社員様ご対応
- 出展企業:KMGホールディングス株式会社/日産福岡販売株式会社/福岡トヨタ自動車株式会社
- 展示車両:三菱アウトランダー(PHEV)/日産アリア(EV)/トヨタクラウン(FCEV)



昨年に引き続きふれあい広場内に次世代自動車を展示。イベント全体との一体感もあり終日にぎわってる様子だった。次世代自動車について、環境面や経済面などを含めた長所や利便性をより多くの市民・事業者に知っていただき、ガソリン車からの切り替えを推進する機会となった。未来エネルギーカフェの実施やステージ横のコーナーという事も功を奏したようで、去年より滞留時間が長かったとメーカーのご担当者様からも好評だった。

ふくおかリユースマルシェ

循環経済に○

New!

「ふくおかリユース月間」に合わせて、本イベントでは福岡市環境局ごみ減量推進課と事業者様の共同出展でリユースイベントを実施。リユース品に興味をもち、気軽に触れてもらうことを目的にリユース品の無償回収・譲渡会を開催した。

- 実施内容:衣類やおもちゃの譲渡・回収
- 実施日程:10月25日(土)~10月26日(日)
- 実施時間:両日とも終日実施
- 運営方法:どなたでも参加可能。リユース品の持ち帰りのみでもOK(お一人様5点まで)
- 参加人数:1043名



リユース品を“実際に手に取って選べる”体験は、多くの方にとって新鮮だったようで、会場は終日とても賑やかだった。「これなら気軽に始められそう」「リユースにこんなにもいいものがあるなんて知らなかった」といった声もあり、楽しみながら循環型社会を考えるきっかけを提供できた。

車型タイムマシンレプリカの展示・撮影会

循環経済に○

有名な映画でおなじみの車型タイムマシンのレプリカが、昨年に引き続き展示と撮影会を実施。幅広い年代の来場者が関心を寄せ、撮影待ちの列ができるほど高い集客効果を得た。「ごみがエネルギーになる」というメッセージをエンタメ性を通じて伝えることで、来場者の理解促進につながるコンテンツとなった。

■実施内容:車型タイムマシンレプリカ展示・乗車撮影会

■実施時間:両日とも終日実施

■運営体制:2名

■運営方法:事前申し込み不要・撮影時間は各自1分以内

※運転席に乗車して撮影可能



インパクトのある展示に、多くの来場者が足を止め、親子連れを中心に長い撮影列ができるほどの盛況となった。「この展示を目的に来場した」という声も聞かれ、来場促進の目玉の一つとなっていた。“ごみがエネルギーに変わる”という革新的な技術を、楽しみながら直感的に理解していただくことができ、環境イベントならではの強い発信力を持つ企画になった。

水素バス「Moving e」展示・乗車体験

脱炭素に○

New!

水素で走る燃料電池バス「Moving e」の展示・見学会と市役所周辺を巡る乗車体験ミニツアーを実施した。本ミニツアーでは、実際に乗車しながら走行の静かさや乗り心地を体感してもらうことで、水素バスおよび水素エネルギーへの理解と関心を高めることを目的とした。

- 実施内容:水素バス「Moving e」展示・乗車体験
- 実施日程:10月26日(日)のみ実施
- 実施時間:①乗車体験/11時・13時・15時(計3回) ②Moving e展示/終日
- 運営体制:運転手1名・受付2名 計3名
- 運営方法:受付テントにて整理券を配布。参加者は出発時間前に指定車駐駐車場に向かい乗車。ルート周遊後、指定車駐駐車場にて解散。
- 参加人数
 - ①乗車体験11時(22名)、13時(21人)、15時(20名) 計63名(各回とも満席)
 - ②Moving e展示:88名



昨年は展示・見学会のみだったが、今回は乗車体験ツアーも同時開催。当日受付に関するお問い合わせが殺到するほどの人気ぶりで大変好評なコンテンツとなった。実際に乗車した参加者からは「走っているとき音が静かでびっくりした」「水素ってすごいんだ」などの声をいただき、燃料電池バスならではの静音性や先進性に高い関心が示された。

一人一花・Fukuoka Flower Show連携イベント

循環経済に○

生物多様性に○

福岡市が推進する「一人一花運動・Fukuoka Flower Show」と連携し、会場内で花とコンポストをテーマとした企画を実施。ステージ上では、ロスフラワーを活用した「フラワーコンポスト体験」を実施し、来場者が実際にコンポストづくりの一部を体験できるプログラムとした。会場内にはロスフラワーを含む花々を販売する「花の屋台」の設置のほか、ステージ上や周辺を花で装飾。装飾に使用した花は、イベント終了後に来場者へ配布した。



■実施日程:10月25日(土)~10月26日(日)

■実施時間

①花屋台/両日とも終日実施

②フラワーコンポスト体験/25日(土):14時30分~15時45分 26日(日):15時~15時45分

■実施内容:フラワーコンポスト体験会の実施ほか、ステージの花装飾(切り花を中心とした花装飾)・花屋台の出展・花屋台の周辺の花装飾など

●フラワーコンポスト体験

鑑賞し終わった花を微生物の力で分解・堆肥化し、朽ちていく様子をアートとして楽しむ「フラワーコンポスト」の体験をステージにて実施。アーティストMikiko Kamada氏のもと、体験は2日間行われ、多くの来場者が参加し大好評だった。今回体験したフラワーコンポストは堆肥化後、3月に開催する「Fukuoka Flower Show2026」で活用予定。



●Fukuoka Flower YATAI(花の屋台)

花屋台では規格外の商品や廃棄予定の商品などロスフラワーを含む花々を販売した。来場者の目を引く華やかな花々で会場を彩り、購入される来場者が多数見られ、一人一花運動への理解や関心の高まりを感じるコンテンツとなった。



FCパッカー-車ごみ投入体験

循環経済に○

水素燃料電池(FC)を搭載したごみ収集車を会場内に展示し、模擬ごみを使ってごみ投入体験を実施。ごみを投げ入れた後、スイッチを押すと車体内にごみが収集されるまでを体験することが出来た。参加者は興味深い様子で収集の様子を観察していた。

- 実施内容: 模擬ごみ投入体験
- 実施日程: 10月25日(土)~26日(日)
- 実施時間: 両日とも終日
- 運営方法: 事前申し込み不要
- 参加人数: 338名

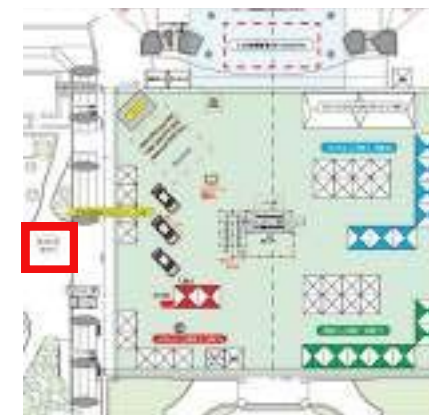


ライジングゼファーフクオカ ごみ分別バスケットボール

循環経済に○

ゴールをごみ箱に見立て、お題のごみを正しく分別(シュート)するゲームを実施。子どもも大人も夢中になってシュートする姿が見られた。参加者から「ごみの分別方法について知らない情報もあった」「分別について子どもと一緒に考える良い機会になった」と好評だった。

- 実施内容: ごみ分別バスケットゲーム
- 実施日程: 10月26日(日)のみ
- 実施時間: 終日
- 運営方法: 事前申し込み不要
- 参加人数: 152名



各企業・団体出展/計39団体・企業(五十音順)

イオン九州株式会社 GREEN PICNIC 系島/NPO法人エコネットふくおか/NTTドコモ九州支社/エフコープ生活協同組合/株式会社オーレックホールディングス/花王グループカスタマーマーケティング株式会社/川上産業株式会社/環境たくみの会/株式会社クラフティア(旧社名:九電工)/公益財団法人自動車リサイクル促進センター/NPO法人循環生活研究所/株式会社JEPLAN/西南学院大学経済学部 小出ゼミ(Re.エコロ)/株式会社セブン-イレブン・ジャパン/NPO法人SoELa/断熱・省エネルギーフォーム推進タスクフォース/低炭素社会推進福岡協議会(LCFC)/中村学園大学短期大学部 キャリア開発学科/中村学園大学短期大学部 食物栄養学科/七区さわやかスタッフ/日本磁力選鉱株式会社/NPO法人博多ミツパチプロジェクト/公益財団法人ふくおか環境財団/福岡県環境部環境保全課・(一社)福岡県冷凍空調工業会/公益社団法人福岡県産業資源循環協会 福岡支部/福岡工業大学 エコFIT/福岡工業大学附属城東高等学校科学部/福岡市海の中道青少年海の家/福岡市環境局ごみ減量推進課/福岡市環境局脱炭素社会推進部/福岡市経済観光文化局水素推進担当/福岡市循環型社会推進部・西部3Rステーション/福岡市地球温暖化対策市民協議会/NPO法人ふくおか湿地保全研究会/福岡市廃棄物試験研究センター/福岡市保健環境学習室 まもるーむ福岡(福岡市保健環境研究所)/福岡市立背振少年自然の家/福岡バイオフィードリサイクル株式会社/一般社団法人ふくおかFUN/NPO法人フードバンク福岡/ライジングゼファーフクオカ株式会社/LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社



クイズスタンプラリー

ゆいまーるアプリを使ったデジタルクイズスタンプラリーを開催。会場内6か所のクイズ設置場所を回遊し、デジタルスタンプを集める。6個すべてコンプリートした方にオリジナルグッズをプレゼントした。スマホをお持ちでない方には紙での参加もできるよう、台紙も別途準備して実施した。

- 実施内容: ゆいまーるアプリを利用したデジタルクイズスタンプラリー
- 実施日程: 10月25日(土)~10月26日(日)
- 実施時間: 両日とも終日実施
- 運営体制: 一般社団法人くらげれんごう様スタッフ1名・運営スタッフ2名 計3名
- 運営方法: 専用アプリをダウンロードし、各設置場所にてデジタルスタンプを二次元バーコードで読み込む。
- ノベルティ: 海洋プラ使用ハーバリウムボールペン
- 参加人数: 10月25日(土)205名/10月26日(日)226名 計431名



スタンプ用二次元バーコード

昨年は開催時間内にコンプリート出来ない方などがいらっしまったため、今年度はルールを簡素化し、たくさんの方に参加していただくことが出来た。またスタンプ付与用の二次元バーコード設置箇所に簡単なクイズを掲示することで、スタンプラリーに参加しながら環境への関心や意識を高めることが出来た、と参加者からも大変好評だった。準備したノベルティは全て終了となったため、急遽追加でオリジナルステッカーをお渡しした。p14

アンケートとノベルティについて

来場者向けデジタルアンケートを実施。ノベルティはガラポン抽選にて決定する方法で実施。空くじなしで豪華商品を準備することで回答率を上げる事が出来た。デジタルアンケートに関しても気軽に回答いただいた様子だった。

- 実施内容: デジタルアンケートの実施(一部紙での対応あり)
- 実施日程: 10月25日(土)~10月26日(日)
- 実施時間: 両日とも終日実施
- 運営方法: デジタルでのアンケート回答。回答いただいた方にノベルティ進呈
- 景品一覧: 1等 ソーダストリーム/2等 ミヤー水筒/3等 おやさいクレヨン/4等 花苗 5等 オリジナルステッカー
- 回答人数: 10月25日(土)262名/10月26日(日)189名 計451名
- デジタル回答: 10月25日(土)257名/10月26日(日)184名 計441名
- 紙回答: 10月25日(土)大人5名/10月26日(日)大人3名こども1名 計大人8名こども1名



1等:ソーダストリーム



2等:ミヤー水筒



3等:おやさいクレヨン



4等:花苗



5等:ステッカー



二日間に渡り、様々なステージイベントを開催。お子様からご年配の方まで幅広い来場者の皆様楽しんでいただくことができた。

スペシャルステージ

バカチンガースペシャルイベント

福岡の未来をちょっとだけ明るくする庶民派ヒーロー「バカチンガ！」でおなじみのバカチンガーが環境フェス 低バルふくおか2025へ参加。バカチンガーは、博多駅周辺でのごみ拾い活動や、海の環境を守るアマモ場づくりなどに参加し、市民と一緒に楽しく環境保全に取り組んでいる。本イベントではバカチンガーオリジナル紙芝居「ありがとうパンチ」の読み聞かせやバカチンガーに関するクイズなどを実施した。またステージ後には、広場内を周ってこどもたちと写真撮影するなど一緒に楽しく交流した。

- 日程 10月25日(土)
- ステージ時間 13:00~13:30
- 出演者 バカチンガー/山田真由美氏(絵本専門士)



共催イベント

環境行動賞表彰式(福岡市消防局音楽隊)

環境行動賞表彰式は、環境保全および創造に関して、日頃から実践的な取り組みを行っている個人や団体・学校の功績を称えるとともに、これらの思いや行動を広く市民へ共有することを目的として実施した。

- 日程 10月25日(土)
- ステージ時間 11:00~12:00
- 出演者 岡澤アキラ氏/福岡市消防音楽隊/福岡市環境局



オープニング

福岡南キッズチアリーディングクラブCANDIES

子どもたちによるチアダンスを実施。愛らしく活気に満ちたパフォーマンスによって、会場は一気に明るい雰囲気にも包まれた。子どもたちの元気あふれるステージは来場者の目を引き賑やかで盛り上がりのあるオープニングとなった。

- 日程 10月26日(日)
- ステージ時間 10:00~10:30
- 出演者 福岡南キッズチアリーディングクラブキャンディーズ



ライブステージ

海洋ゴミ楽器集団ゴミンゾク

ペットボトルや空き缶、漂着したプラスチックなど、本来は捨てられてしまうゴミを“楽器”に変えて演奏を行った。音楽で海の環境を守る大切さを楽しく伝える素晴らしいステージとなった。

- 日程 10月26日(日)
- ステージ時間 12:00~12:45
- 出演者 海洋ゴミ楽器集団ゴミンゾク



一人一花・Fukuoka Flower Show プレゼンツ フラワーコンポスト体験イベント

鑑賞し終わった花を微生物の力で分解・堆肥化し、アートとして楽しむ「フラワーコンポスト」の体験を実施。参加者には花を瓶へ投入する工程を体験してもらい、花が朽ちていく過程を連想しながら、循環型の環境づくりに参加していることを実感していただけた。今回体験したコンポストは堆肥化後、Fukuoka Flower Show 2026で活用予定。

- 日程 10月25日(土)、26日(日)
- ステージ時間 25日(土)14:30~15:50 26日(日)15:00~15:50
- 出演者 アーティスト Mikiko Kamada氏



出展団体PR

■10月25日 (土)

- ①12時45分～13時00分 イオン九州株式会社・GREEN PICNIC 糸島
- ②13時30分～13時45分 川上産業株式会社
- ③13時45分～14時00分 福岡工業大学附属城東高等学校
- ④14時00分～14時15分 福岡市保健環境学習室まもる一む福岡 (福岡市保健環境研究所)
- ⑤14時15分～14時30分 中村学園大学短期大学部食物栄養学科

■10月26日 (日)

- ①10時30分～10時45分 NPO法人循環生活研究所
- ②10時45分～11時00分 株式会社JEPLAN
- ③11時00分～11時15分 中村学園大学短期大学部 キャリア開発学科
- ④11時15分～11時30分 NPO法人SoELa
- ⑤13時00分～13時15分 ライジングゼファーフクオカ株式会社
- ⑥13時15分～13時30分 エフコープ生活協同組合
- ⑦13時30分～13時45分 NPO法人フードバンク福岡
- ⑧13時45分～14時00分 福岡工業大学 エコFIT
- ⑨14時00分～14時30分 一般社団法人ふくおかFUNトークショー
- ⑩14時30分～14時45分 株式会社クラフティア
- ⑪14時45分～15時00分 NPO法人エコネットふくおか



例年、体験ツアーは環境フェスティバルの開催日とは別日に実施していたが、今年度は啓発イベントと同日に、体験ツアーおよびワークショップを開催した。同日に市役所内でワークショップを行い、体験ツアーは啓発イベント会場を発着地点とすることで、ツアーやワークショップの参加者が啓発イベントにも立ち寄りやすくなり、集客アップに繋がった。

- 実施日程 10月25日(土)／10月26日(日)
- 応募方法 事前申し込み制(専用フォーム) ※応募多数の場合は抽選
- 参加費 無料
- 参加資格 福岡市内在住／中学生以下は保護者同伴必須
- 実施内容 次ページ参照
- 申込者数 318名 ■参加者数 162名
- 受付方法 各開始の30分前から受付開始。市役所ロビーにて受付。

■受付場所



ワークショップ一覧

04 エネルギーと環境	05 こどもエコワークショップ	06 紙を使ってオリジナルプレートをつくろう
<p>エネルギーと環境について学び、身近なエネルギーの活用方法を紹介します。</p>	<p>身近な自然素材を使って、オリジナルのプレートを作ります。</p>	<p>紙を使って、オリジナルのプレートを作ります。</p>

05 こどもエコワークショップ

06 紙を使ってオリジナルプレートをつくろう

申込フォーム(部抜粋)



01 博多大丸サステナビリティ見学ツアー

大丸福岡天神店のバックヤードをまわりながら、エコな取り組みを学ぶサステナビリティ見学ツアーを実施した。

- 日時:10月25日(土)14:00~15:30
- 場所:大丸福岡天神店
- 対象:特になし
- 協力:株式会社博多大丸
- 参加者数:4組8名



博多大丸の環境への取り組みについて説明を受けた後、バックヤードへ移動、廃油回収プロジェクトやエコフキャンペーンの現場や、一般公開されていない稲荷神社や社員食堂も見学。コンポストづくり体験では、コンポストガーデンにてハーブを収穫。子供たちは積極的に質問し、自分にできることを親子で考える有意義な体験となった。

02 ~ガサでたずねて山川里~樋井川リパークエスト

樋井川に生息する生き物の観察会のほか、たも網を使った生き物の採取(がさがさ)を実施した。

- 日時:10月26日(日)10:00~12:00
- 場所:樋井川ビーチ
- 対象:小学1~6年生とその保護者
- 協力:一般社団法人ふくおかFUN
- 参加者数:10組20名



樋井川に生息する生き物やガサのやり方についての説明後、チームに分かれてクエストが開始された。参加者は興味津々で積極的にガサを行い、うなぎを発見したチームがあった。クエスト終了後は、捕まえた生き物や川のゴミについての説明の時間もあり、身近な場所で自然に親しみ、環境意識を育む貴重な体験となった。

03 日本ミツバチの「博多ハニ-」採蜜体験ツアー

ミツバチの生態や生態系での役割など環境保全の大切さを学ぶ採蜜体験や試食会を実施した。

- 日時:10月26日(日)13:00~15:00
- 場所:(公財)ふくおか環境財団
- 対象:小学1~中学3年生とその保護者
- 協力:NPO法人博多ミツバチプロジェクト
- 参加者数:7組14名



ミツバチの生態に関して、詳しい説明を受けたあと、実際に巣箱から採蜜体験を行った。その後の試食会では、参加者からは「市販品と味が違う」「濃い部分は甘い」などの感想があり、親子で楽しむ様子が見られた。質疑応答では多くの質問があり、自然の大切さを学ぶ貴重な機会となった。

04 エネルギー-出前授業

～電気をつくるしくみを知ろう×暮らしと地球環境を考えよう～

暮らしと地球環境やエネルギーについて、実験やワークショップを通じて、楽しく学ぶ九電グループの出前授業を実施した。

- 日時:10月25日(土)
- ①10:00～10:45 ②11:15～12:00
- 場所:福岡市役所15階研修室A
- 対象:小学4～6年生とその保護者
- 協力:九電グループ
- 参加者数:8名



発電の仕組み、地球温暖化、節電などについてクイズや映像を交えた説明があった。様々な発電方法を学んだり、二酸化炭素を使った地球温暖化の実験を見たり、興味深い学びを経験できた。中でも子どもが一番目を輝かせたのは、団扇で風を起こし、発電機のプロペラを廻して豆電球を光らせるゲームだった。

05 こどもエコ・ワークショップ

家模型の制作や実験を通して、環境問題について楽しく学び、考えるきっかけを提供することを目的としたワークショップを開催した。

- 日時:10月25日(土)10:00～12:00
- 場所:福岡市役所15階研修室B
- 対象:小学3～6年生とその保護者
- 協力:大和ハウス工業株式会社
- 参加者数:14組28名



講師からエコ住宅について学んだ後、実際に自分たちでエコ住宅を模型で作り、その家を快適にするためにどのような工夫をしたかを発表。窓ガラスを3重にしたり、平らな屋根をガラスにしたり、屋根に日よけの樹木を植えたりする等、ユニークな模型を組み立てている様子はとても楽しそうだった。

06 廃材を使ってオリジナルプレートをつくろう

廃材を使ったオリジナルのネームプレート作りを開催。捨てられるものを使ってモノ作りをするこの意味や楽しさを学ぶワークショップを実施した。

- 日時:10月25日(土)
- ①13:00～14:00 ②14:30～15:30
- 場所:福岡市役所15階研修室A
- 対象:小学1～6年生のお子さま
- 協力:イオン九州株式会社
- 参加者数:12組36名



廃材にグルーガンで「〇〇のへや」など文字を書いて、カラフルな砂で色付けをしたり、貝殻でデコレーションしたりと、親子で一生懸命作業を行っていた。それぞれ色使いや貝殻を置く位置など個性豊かで、「家でできないから楽しい」「帰ったら家に飾りたい」と満足そうな声を聞くことができた。

07 家族で学ぶ！熱中症対策セミナー ～からだをまもる水分と塩分のひみつ～

体のしくみ・水分補給の大切さ・クイズや体験などを交えたワークショップを実施した。

- 日時:10月25日(土)14:00~15:00
- 場所:福岡市役所15階研修室B
- 対象:小学生以上
- 協力:大塚製薬株式会社
- 参加者数:24名



アニメ「はたらく細胞」を通して、熱中症が起きる仕組みを学んだ後、スライドで細かい解説を受けた。お子さんも興味津々でアニメを視聴して、熱中症についてきちんと理解した様子だった。クイズ大会では親子で楽しみながら理解を深め、最後は冷たい飲み物で手のひらを冷やし体温を下げる「プレクーリング体験」を行い、熱中症の対策方法まで学習することができた。

08 環境にも肌にもやさしい石鹸を使って 手洗い実験をしよう！

手洗いが正しくできているかブラックライトでチェックしながら手洗いワークショップを実施した。

- 日時:10月26日(日)
- ①10:10~10:50 ②11:00~11:40
- 場所:福岡市役所15階研修室B
- 対象:特になし※中学生以下は保護者同伴必須
- 協力:エフコープ生活協同組合
- 参加者数:14名



食中毒予防に大切な「手洗い」が普段きちんとできているかブラックライトでチェックし、(環境にやさしい石鹸も使って)正しい「手洗い」を習得。大人と子どもと一緒に学ぶ楽しい時間となり、参加者からは「手洗いを甘くみていた。」「冷蔵庫を触る前に手を洗うように心がけたい。」という意見があった。

09 冷たさキープ！ アルミ付きプチプチでペットボトルホルダーを作ろう！

アルミ付きのプチプチに好きな絵を描いてオリジナルのペットボトルホルダーを作るワークショップを実施した。

- 日時:10月26日(日)
- ①10:00~10:25 ②10:40~11:05 ③11:20~11:45
- 場所:福岡市役所15階研修室A
- 対象:5歳~小学6年生とその保護者
- 協力:川上産業株式会社
- 参加者数:5組10名



プチプチ®やペットボトルがリサイクル可能な資源物であることや、分別の仕方などについてクイズを交えながらの説明後、ペットボトルホルダーに親子で絵を描き、嬉しそうに持ち帰っていた。1月から市内公共施設でプチプチ®の回収を始めたことを知らない参加者が多く、啓発の良い機会となった。

開催概要

- 開催日時 2025年10月25日（土）
- 開催時間 11：00～12：00
- 開催場所 福岡市役所西側ふれあい広場

受賞者一覧（表彰順）※敬称略

■優秀賞

- 作田 恵弘（個人）
- 田上 稔（個人）
- ウェットランドフォーラム（団体）
- 奈多植林会（団体）
- 福岡市立筑紫丘小学校（学校）
- 学校法人福岡幼児学園紅葉幼稚園・ナーサリータイムスクール（学校）

■特別賞

- 飯原公民館家庭教育学級「親子塾」（団体）

■みらいチャレンジ賞

- ギュムノ・アイラ（個人）
- 福岡大学附属大濠高等学校 生物部（学校）

■最優秀賞

- 油山自然案内人の会（団体）
- 福岡県立福岡講倫館高等学校（学校）
- 松尾 英子（個人）

式次第

タイム	RAP	scene	登壇者(贈授者/副賞授与者)	部門	受賞者
11:00～	1'	オープニング	MC鈴木		
11:01～	3'	主催挨拶	福岡市環境局長 藤本局長		
		表彰挨拶	環境行動賞選考委員会委員長 (代理)田中委員		
11:04～	5'	ゲスト登壇	岡澤氏		
11:09～	3'	優待賞	藤本局長	個人	作田 恵弘
11:12～	3'			個人	田上 稔
11:18～	3'			団体	ウェットランドフォーラム 代表 太田善子
11:18～	3'			団体	奈多植林会 代表 今林悠一郎
11:21～	3'			学校	福岡市立筑紫丘小学校 代表 田口小嶋
11:24～	3'			学校	学校法人福岡幼児学園紅葉幼稚園・ ナーサリータイムスクール 代表 尾上貴彦
11:27～	3'	特別賞	岡澤氏	団体	飯原公民館家庭教育学級「親子塾」 代表 中島佳正
11:30～	3'	みらいチャレンジ賞		個人	ギュムノ・アイラ
11:33～	1'	最優秀賞	田中委員	学校	福岡大学附属大濠高等学校 生物部
11:34～	3'			団体	油山自然案内人の会 代表 高野善雄
11:37～	3'			学校	福岡県立福岡講倫館高等学校 代表 松尾健太郎
11:40～	1'			個人	松尾 英子
11:41～	3'	調停	田中委員		
11:44～	5'	ゲストトーク	岡澤氏		
11:48～	5'	記念撮影	全員		
11:53～	2'	閉会の辞	MC鈴木		

■スペシャルゲスト



岡澤アキラさん

福岡の人気タレント。
うどんMAPのリポーターとして一躍人気ものに。
現在はFBS「バリはヤッ!」のメインMCを務めている。

福岡で抜群の知名度を誇る岡澤アキラさんがスペシャルゲストとして登場。会場は大いに盛り上がった。フリートークの場面では自身が学生時代に環境への関心を高めたこと、現在「福岡エコ運動」の広報活動を行っていることなどをお話いただき、観覧者への環境への意識を高めることができた。



■オープニングパフォーマンス



福岡市消防音楽隊

昭和41年に発足。福岡市と福岡市民のための公共的行事に参加し、演奏活動を通じて、火災予防広報をはじめ、広く消防のPRを行う。

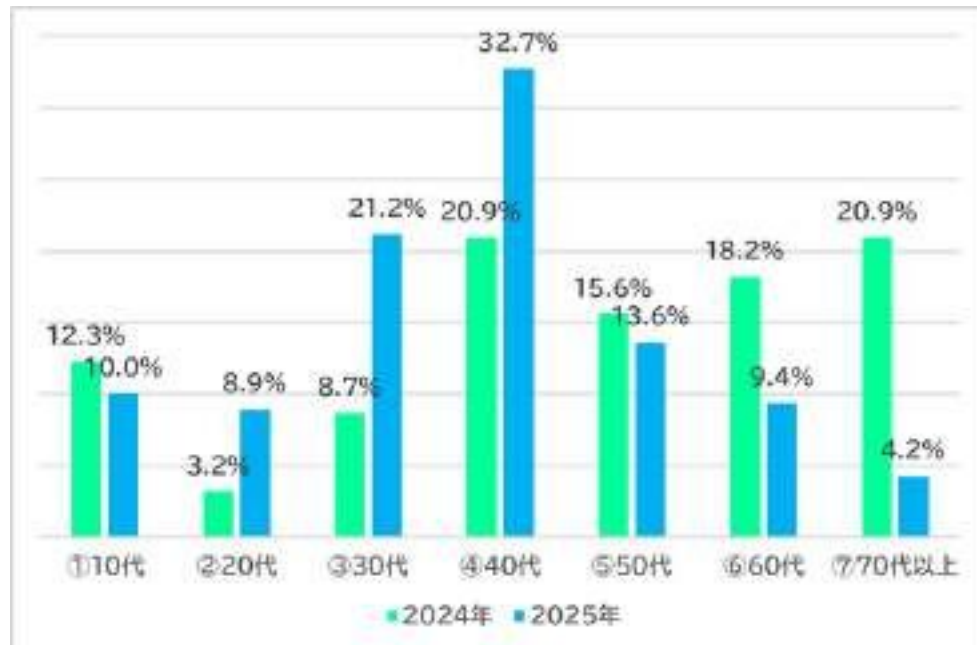
環境フェスティバルふくおか2025のオープニングアクトとして、また表彰式を盛り上げるパフォーマンス隊として多くの来場者を楽しませた。表彰式後の演奏時には、パネルを使って火災予防の広報なども行い、市民の方が熱心に聞き入る姿が見受けられた。



- 実施場所:福岡市役所西側ふれあい広場
- 実施内容:来場者向けアンケート
- 運営方法:デジタルアンケート・紙アンケートの2種
- 回答人数:10月25日(土)261名/10月26日(日)188名 計449名

1.年齢

年度	①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代以上
2024年	12.3%	3.2%	8.7%	20.9%	15.6%	18.2%	20.9%
2025年	10.0%	8.9%	21.2%	32.7%	13.6%	9.4%	4.2%
増減(pt)	▼2.3	5.7	12.5	11.8	▼2.0	▼8.8	▼16.7



参加層の若年化が進行

20代・30代・40代が全体の約63%を占め、昨年の約34%から大きく上昇した。特に30代が約2.4倍に増加しており、ファミリー層や働き盛り世代への訴求が強まった可能性がある。40代が来場者の年齢の中心となっている。

- ・最も多い年代が40代(32.7%)で、昨年の20.9%から顕著な伸び。
- ・子ども連れ世帯の来場が多かったイベント構成であることが示唆される。

2.お住まい

①東区	②博多区	③中央区	④南区	⑤城南区	⑥早良区	⑦西区	⑧市外	⑨県外
12.5%	13.6%	17.1%	11.8%	6.7%	10.5%	6.2%	17.6%	4.0%

3.これまで「環境フェスティバルふくおか」に来場(参加)されたことはありますか？

①初めて	②2・3回	③4～6回	④7回以上
65.5%	24.1%	6.7%	3.8%

4.「環境フェスティバルふくおか2025」に来場(参加)されたきっかけは何ですか(いくつでも)

①市政だより	②ホームページ	③SNS	④ポスター・チラシ	⑤その他
41.4%	13.8%	13.6%	17.1%	22.7%

来場のきっかけは「市政だより」が最多で、ポスター・チラシなど合わせて紙媒体が全体の約6割を占めた。一方でSNSによる誘導は1割強に留まり、デジタル媒体の活用による新規層獲得に改善余地が見られる。

4-1.「4」の質問で「その他」を選択された方はご記入ください

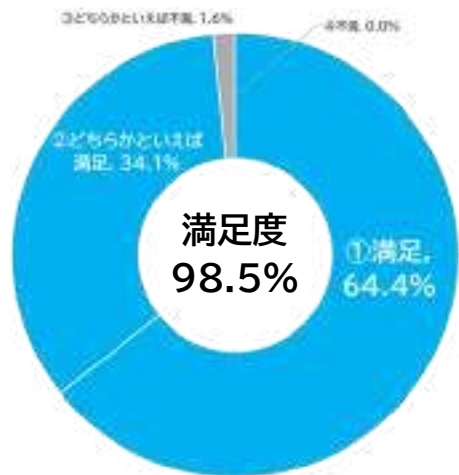
- ・通りがかり・たまたま見かけて。
- ・「学校の部活で」「出展している」「ブースに出展したから」など出展関係
- ・「友人の紹介」「家族から紹介」「知人からの紹介」など
- ・SNS・情報を見て。(「駅から見たところテントがあり気になって検索した」など)
- ・マイアースを見るため。
- ・博多ミツバチプロジェクトが出展していたから。

「その他」と回答した方の来場のきっかけとしては、「通りがかり・たまたま見かけて」が約7割を占め、偶発的な来場が中心となった。一方で、「出展関係者」「友人・家族からの紹介」も一定数見られ、地域・学校単位での広がりが見られた。SNSやWeb検索による来場は限定的であり、今後はデジタル発信と現場での視認性を組み合わせた集客導線づくりが有効と考えられる。

5.「環境フェスティバルふくおか2025」の総合的な満足度はいかがでしたか

①満足	②どちらかといえば満足	③どちらかといえば不満	④不満
64.4%	34.1%	1.6%	0.0%

9割以上が「満足」「どちらかといえば満足」と回答



6.「5」の質問で回答された理由を教えてください。

■「満足」「どちらかといえば満足」と回答した方の回答理由

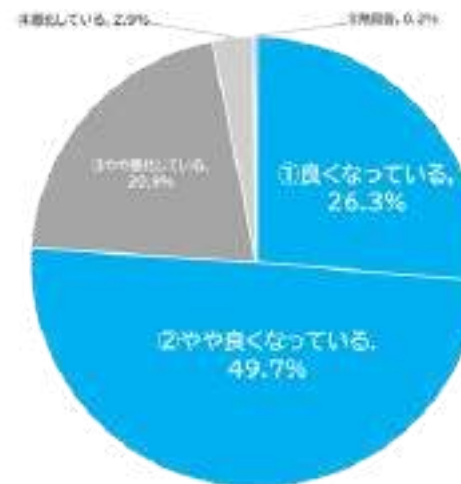
- 子どもと一緒に楽しめた。
- 環境について学べた。
- 知らないことを知れた。
- 体験を通して学べるたのでよかった。
- いろんなブースがあって楽しかった。
- 体験が多くイベントが充実していた。
- リユース・不用品回収がよかった。
- リサイクルについて学べた。
- ノベルティやプレゼントが良かった。
- 色々もらえてよかった。
- タイムマシンが見れてよかった。
- 岡澤アキラさんが見れてうれしかった。
- ブースがわかりやすく回りがやすかった。

■「どちらかといえば不満」と回答した方の回答理由

- かえっこバザールがなかったから。
- 雨だったから。
- 紙コップなど、環境とはかけ離れている物の利用が多く感じた。

7.あなたの身の回りの環境についてどのように感じていますか

①良くなっている	②やや良くなっている	③やや悪化している	④悪化している	⑤無回答
26.3%	49.7%	20.9%	2.9%	0.2%



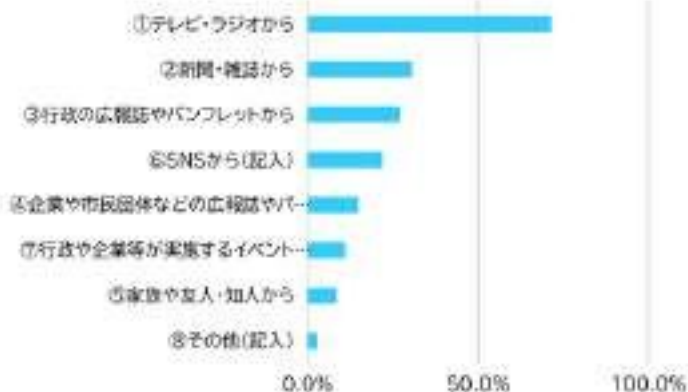
8.現在、どのような環境問題に関心をお持ちですか。

年度	①地球温暖化	②大気汚染	③不法投棄など廃棄物の不適正な処理	④リサイクル可能な資源の廃棄	⑤海洋汚染	⑥人々の生活の身近にある自然の減少	⑦野生生物や希少な動植物の減少や	⑧特になし
2024年	47.7%	25.0%	22.5%	27.7%	25.9%	19.6%	19.4%	0.7%
2025年	78.4%	38.3%	31.8%	36.1%	39.6%	25.6%	26.9%	0.9%
増減(pt)	30.7	13.3	9.3	8.4	13.7	6.0	7.5	0.2



9.環境問題等に関する情報はどのように入手していますか。(いくつでも)

①テレビ・ラジオから	②新聞・雑誌から	③行政の広報誌やパンフレットから	④企業や市民団体などの広報誌やパンフレットから	⑤家族や友人・知人から	⑥SNSから(記入)	⑦行政や企業等が実施するイベントへの参加を通じて	⑧その他(記入)
71.30%	30.70%	27.40%	14.90%	8.70%	22.00%	11.40%	2.90%



9-1.「9」の質問で「SNSから」を選択された方は具体的に記入してください
Instagram, X(旧Twitter), Youtube,

9-2.「9」の質問で「その他」を選択された方は具体的に記入してください
インターネットで検索して,学校の授業で

10.「環境フェスティバルふくおか2025」に来場(参加)して、以前よりも環境問題等への関心が高まりましたか

①高まった	②やや高まった	③どちらかと言うと高まらなかった	④何も変わらなかった
58.6%	38.3%	2.4%	0.7%

9割以上が「高まった」「やや高まった」と回答



全体の **96.9%** が「関心が高まった」または「やや高まった」と回答しており、イベントが来場者の環境意識を高めるきっかけになったことが明確に示されている。

11.「10」の質問に回答された理由を教えてください。

■学び・知識獲得(36件)

いろいろと勉強になり関心が高まった。
知らなかったことを学べたから。
クイズで知識を得ることができた。
フロンについて勉強になった。
環境問題を考えるきっかけになった。

■意識・行動変化(23件)

リサイクルやリユースの意識が高まった。
気にするようにしたいと思った。
注意して情報を見るようになった。
もったいない精神でリユースに取り組もうと思った。
改めて意識することができた。

■新しい発見・情報(16件)

フードバンクについて知ることができた。
知らない団体の活動がわかった。
水素を使ったものがあった勉強になった。
知らないエコ技術や製品など知れたから。

■体験・実感(12件)

ブースを回って楽しく学べた。
クイズがわかりやすくてよかった。
体験する事で意識出来た。
実際に環境に触れてみて実感したから。

■子ども・家族(6件)

子供が学んだから。
子供の環境に対する関心が高くなったから。
子供と一緒に体験できた。

■感想・印象(4件)

楽しく学べてよかったから。
わかりやすく詳しく解説してもらった。

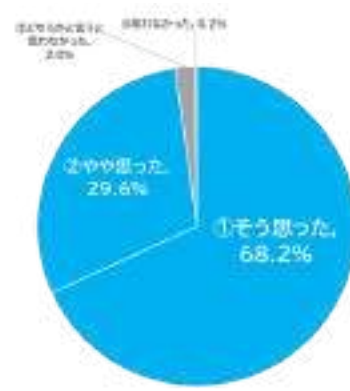
■その他(10件)

全体の傾向を見ると、最も多いのは「学び・知識獲得(約34%)」で、次に「意識・行動変化(22%)」が続き、イベントが「学び」から「行動意識」へとつながる流れを生んでいることがわかる。

12.「環境フェスティバルふくおか2025」に参加して、以前よりも節電など「環境にやさしい行動」に取り組みたいと思いませんか

①そう思った	②やや思った	③どちらかと言うと思わなかった	④思わなかった
68.2%	29.6%	2.0%	0.2%

9割以上が「そう思った」「やや思った」と回答



「環境にやさしい行動」に取り組みたいと思った人は97.8%にのぼり、イベントが来場者の意識変容から行動意欲へ結びついていることがわかる。

設問10(関心の高まり)との関連から、関心の向上→「行動意欲の発生」という好循環が見られる。自由記述では「リサイクルを意識したい」「知らなかった技術を知った」など、具体的な行動意識への変化が多く見られ、単なる学びイベントから行動喚起型のフェスティバルとして評価されていると推察される。

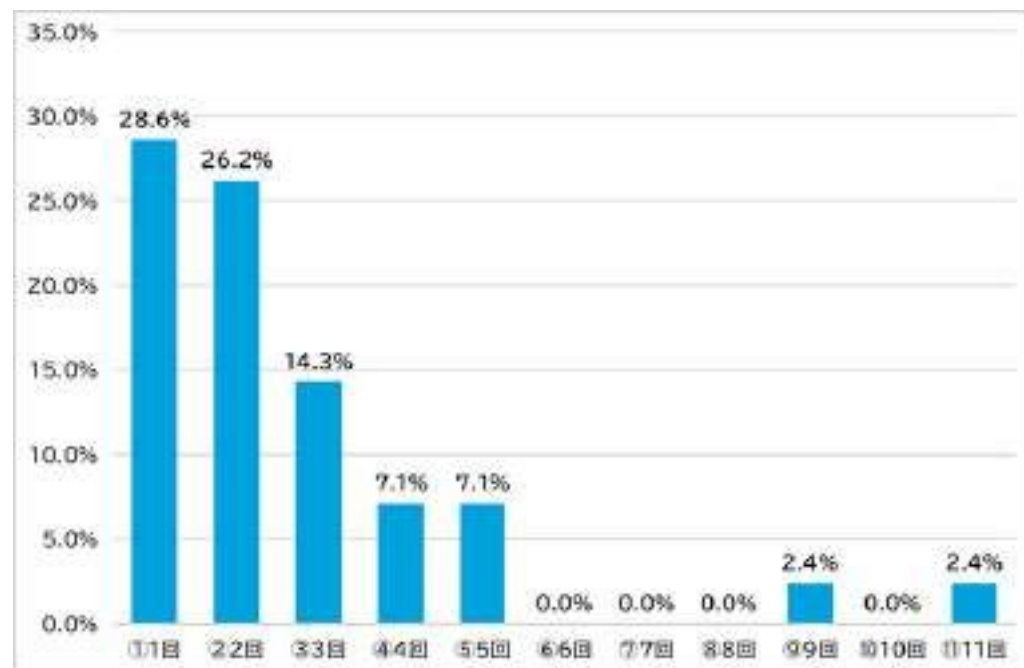
13. 「第12回福岡市環境行動賞」の表彰式をご覧になりましたか

①初めて見た	②以前見たことがある	③見ていない
29.0%	9.6%	61.5%

「初めて見た」と回答した人が29%と最も多く、「以前見たことがある」(9.6%)を大きく上回った。これは、これまで環境行動賞の表彰式に触れる機会がなかった方が、フェスティバル来場をきっかけに新たに認知・接触できたことを示している。新規層への広がりという点で、環境フェスティバル内での表彰式の実施は効果があったと推察される。

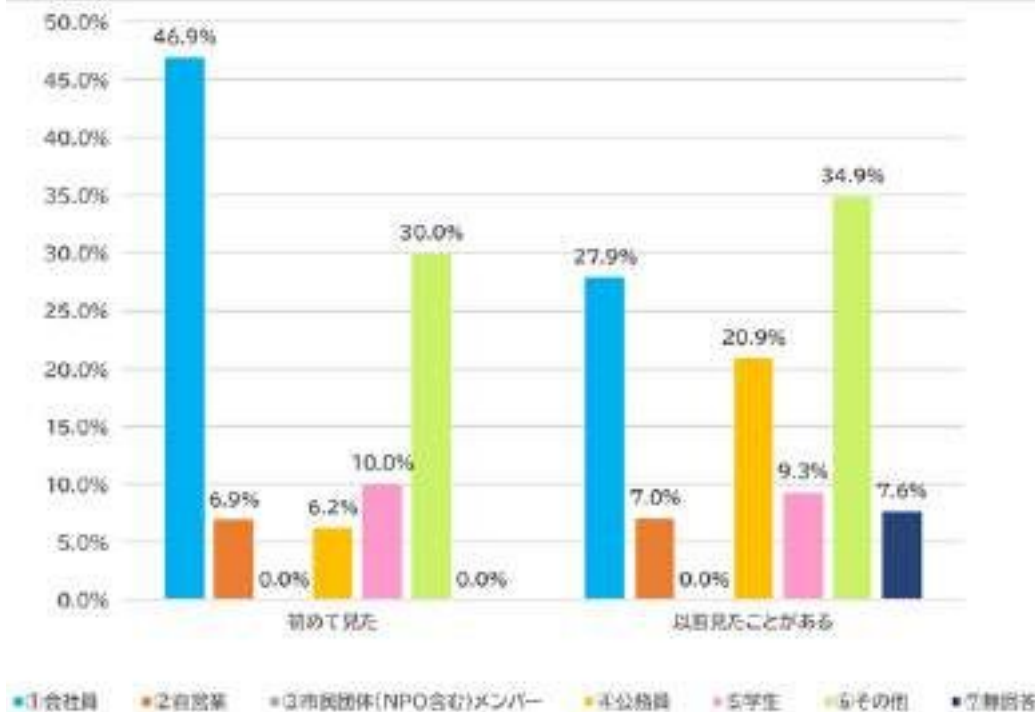
13-1. 「13」の質問で「以前見たことがある」と答えた方は回数を教えてください

①1回	②2回	③3回	④4回	⑤5回	⑥6回	⑦7回	⑧8回	⑨9回	⑩10回	⑪11回
28.6%	26.2%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	0.0%	2.4%



14. 13の設問で表彰式を①初めて見た ②以前見たことがあると回答した方へ職業は何ですか？

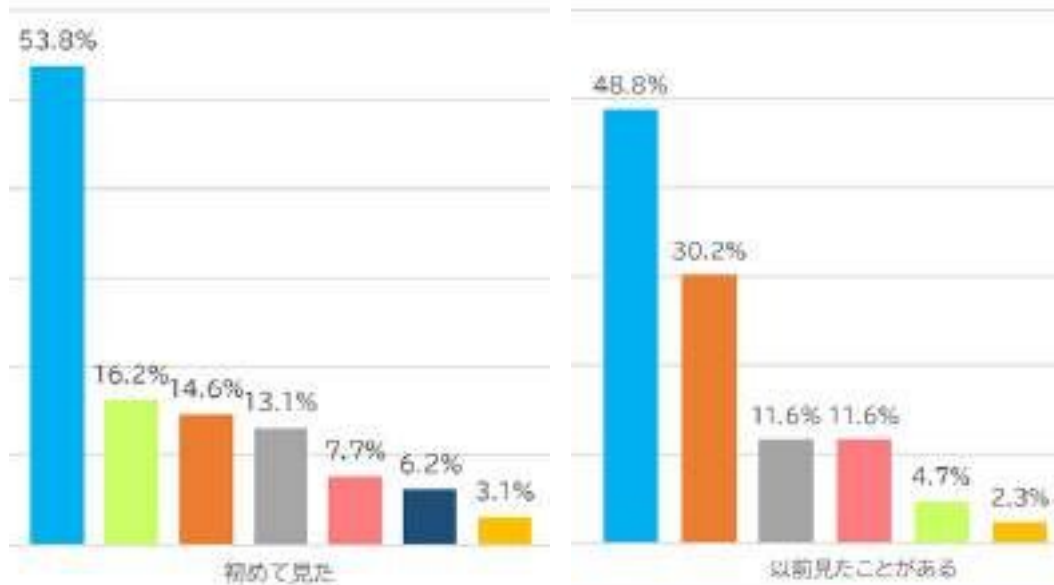
	①会社員	②自営業	③市民団体(NPO含む)メンバー	④公務員	⑤学生	⑥その他	⑦無回答
初めて見た	46.9%	6.9%	0.0%	6.2%	10.0%	30.0%	0.0%
以前見たことがある	27.9%	7.0%	0.0%	20.9%	9.3%	34.9%	7.6%



・「初めて見た」では会社員とその他に多い傾向が見られた。

15. 「13」の質問で表彰式を①初めて見た ②以前見たことがあると回答した方へ「第12回福岡市環境行動賞」の表彰式をどのようにお知りになりましたか。

	①市政だより	②ホームページ	③チラシ	④フェイスブック	⑤インスタグラム	⑥環境フェスティバルふくおか2025に来場して	⑦その他(記入)
初めて見た	53.8%	14.6%	13.1%	3.1%	7.7%	16.2%	6.2%
以前見たことがある	48.8%	30.2%	11.6%	2.3%	11.6%	4.7%	0.0%



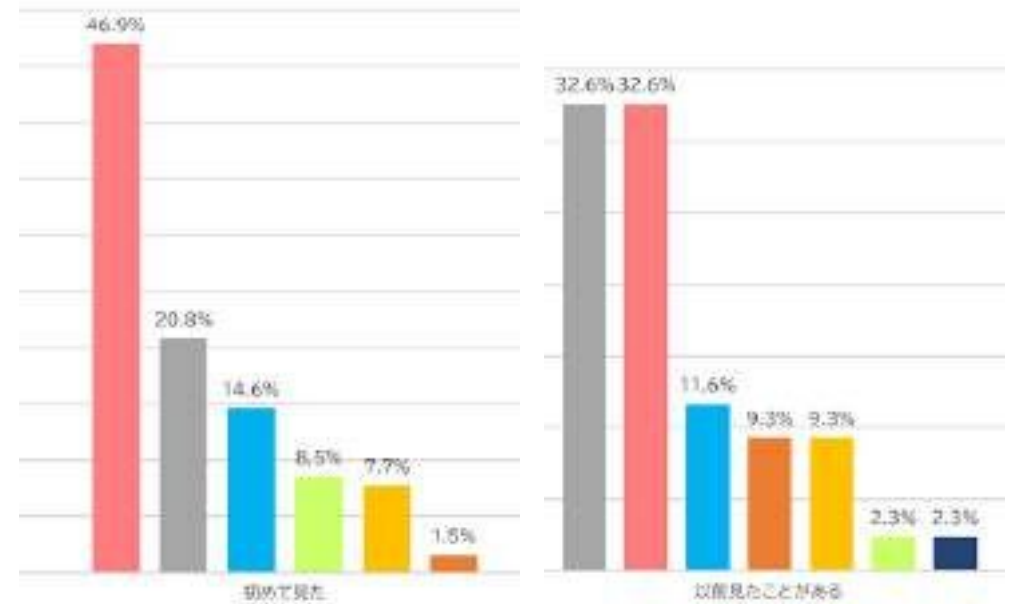
- ①市政だより
- ②ホームページ
- ③チラシ
- ④フェイスブック
- ⑤インスタグラム
- ⑥環境フェスティバルふくおか2025に来場して
- ⑦その他(記入)

15-1. 「15」の質問で「その他」と回答された方はご記入ください。

- ・ たまたま通りかかったから。(複数)

16. 「第12回福岡市環境行動賞」の表彰式をご覧になったきっかけは何ですか

	①受賞したから	②知り合いが受賞したから	③環境について興味があったから	④友人・知人に誘われたから	⑤環境フェスティバルふくおか2025に来場して	⑥その他(記入)	⑦無回答
初めて見た	14.6%	1.5%	20.8%	7.7%	46.9%	8.5%	0%
以前見たことがある	11.6%	9.3%	32.6%	9.3%	32.6%	2.3%	2.3%



- ①受賞したから
- ②知り合いが受賞したから
- ③環境について興味があったから
- ④友人・知人に誘われたから
- ⑤環境フェスティバルふくおか2025に来場して
- ⑥その他(記入)
- ⑦無回答

16-1. 「16」の質問で「その他」と回答された方はご記入ください。

- ・ たまたま通りかかったから。(複数)
- ・ 岡澤アキラさんがいたから。

17. 感想があればご記載ください。

- それぞれの環境活動についてよく知ることができました。
- カードゲームなど楽しみながら学べる取り組みが興味深かった。
- リユースの取り組みも送るだけでいいサービスを知った。
- これまで廃棄していたものについてリユースの検討を一度してみたい。
- 環境について色々知ることが出来て良かった。
- 昨年あったフリーマーケットが今年はなかったのが残念だった。
- 環境の事を学ぶ良いきっかけになった。
- 環境フェスティバルふくおかと行動賞の表彰式の同時開催がよかった。
- 継続してほしい。
- プラスチックリサイクルについて、もっと知りたいなと思った。
- 地球環境への関心が高まる機会ができてとても良いと思った。
- 年2回以上開催してほしい。
- 環境のブースでもそれぞれがテーマが違って勉強になった。
- 環境フェスのスタッフさんが優しかった。
- もう少し大人向けのコンテンツが多い方が良かった。
- 飲食ブースがあると良かった。
- これからも環境問題に目を向けて生活し、自分から変わっていきたいと思った。
- このような活動が続いて欲しい。
- 2040年カーボンニュートラルに向けて一市民として頑張りたい。
- リユースマルシェは環境に優しくいい取り組みだと思った。
- 初めて参加して楽しく環境について勉強になった。
- リユースマルシェがとても良かった。
- たまたま来てみたけど、とても楽しいイベントだった。
- 環境についてなかなか触れないのでいい機会となった。

主な内容分類(複数該当あり)

- 楽しかった・満足 体験・展示が楽しい、雰囲気が良い、など(約45件)
- 学び・啓発 環境について知るきっかけ、勉強になった、など(約25件)
- 継続・再来希望 継続開催・次回参加への期待(約20件)
- 表彰式・リユース関連評価 新しい取り組みや統合の評価(約8件)
- 改善・要望 コンテンツや設備に関する要望(約6件)

特徴的なコメント

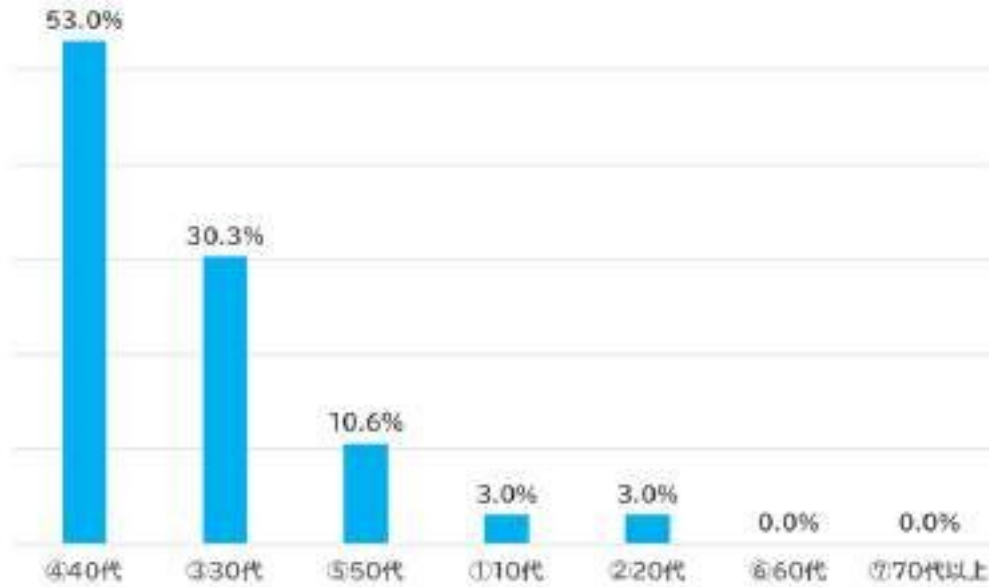
「昨年より充実していた」、「フリーマーケットがなく残念」など、リピーター視点の比較意見も見られた。
 「スタッフが優しかった」など、運営側への感謝の声も複数あり。
 「カーボンニュートラルに向けて頑張る」など、来場をきっかけに行動意欲を示す声もあった。

来場者からは「楽しかった」「勉強になった」「来年も参加したい」といった肯定的な感想が多数寄せられ、イベント全体の満足度は非常に高い傾向が見られた。特にリユースマルシェや環境行動賞の統合など、新しい試みに対する評価が目立った。大人向け企画や飲食ブースなど、来場者層に応じた改善要望も見られ、次回以降の運営に向けた有益な示唆が得られた。

- 実施場所:各ツアー・ワークショップ
- 実施内容:参加者向けアンケート
- 運営方法:大人・子どもの2種(いずれも紙アンケート)
- 回答人数:大人66名 子ども 73名 計139名

1.年齢(大人のみ回答)

①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代以上
3.0%	3.0%	30.3%	53.0%	10.6%	0.0%	0.0%



2.お住まい

種別	①東区	②博多区	③中央区	④南区	⑤城南区	⑥早良区	⑦西区	⑧市外
大人	2.4%	2.4%	3.6%	1.8%	2.0%	1.3%	0.9%	0.2%
子ども	16.4%	15.1%	21.9%	16.4%	12.3%	9.6%	6.8%	1.4%

3.これまで「環境フェスティバルふくおか」に来場(参加)されたことはありますか？

種別	①初めて	②2-3回	③4-6回	④7回以上
大人	83.3%	15.2%	1.5%	0.0%
子ども	80.8%	16.4%	1.4%	1.4%



4.「環境フェスティバルふくおか2025」に来場(参加)されたきっかけは何ですか(いくつかでも)

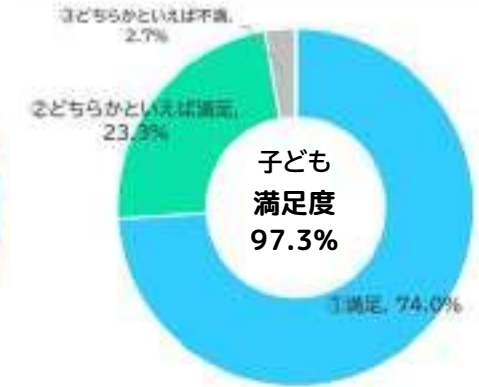
種別	①市政だより	②ホームページ	③SNS	④ポスター・チラシ	⑤その他(記入)
大人	34.8%	10.6%	10.6%	25.8%	1.5%
子ども	31.5%	11.0%	0.0%	41.1%	16.4%

5.「環境フェスティバルふくおか2025」の総合的な満足度はいかがでしたか

種別	①満足	②どちらかといえば満足	③どちらかといえば不満	④不満	無回答
大人	75.8%	16.7%	0.0%	0.0%	7.6%
子ども	74.0%	23.3%	2.7%	0.0%	0.0%

9割以上が「満足」「どちらかといえば満足」と回答

大人・子どもどちらの参加者からも高い満足度が得られた。特に「満足」「どちらかといえば満足」と回答した割合は、大人 92.5%、子ども 97.3% 高水準で、年代に関わらず体験価値が伝わっていることが読み取れる。



6.「5」の質問で回答された理由を教えてください。

■博多大丸サステナビリティ見学ツアー

【大人】

- ・ いろんな事を知れてよかった。
- ・ 大丸の裏も見ることが出来たり、リサイクルをわかりやすく教えてもらったので子どもにも伝わった。

【子ども】

- ・ 収穫したり、初めて行った行ったところに行ったりして楽しかった。

■～ガサでたずねて山川里～樋井川リパークエスト

【大人】

- ・ 日常ではできない体験、知識も知れて親子で楽しかった。
- ・ 大人数ならではの色々な種類の生き物が見れて嬉しかった。

【子ども】

- ・ 近所の川にいる生物が見れて楽しかった。
- ・ 色々な生き物が捕れたりチームで競争して1位をとれたから。

■日本ミツバチの「博多ハニー」採蜜体験ツアー

【大人】

- ・ ミツバチの採蜜を間近で見ることが出来て、子供に良い体験になったと思った。
- ・ 採蜜体験がとても貴重で楽しかったから。

【子ども】

- ・ 初めてミツバチの近くに来て、ちょっと怖かったけどハチミツも美味しかったし楽しかったから。
- ・ 蜂の巣の中を見れて楽しかった。めちゃくちゃ美味しかった。

■エネルギー出前授業～電気をつくるしくみを知ろう×暮らしと地球環境を考えよう～

【大人】

- ・ しっかりと電気について知れた。
- ・ 分かりやすい内容で抵抗なく学ぶことが出来た。

【子ども】

- ・ 初めてのことを沢山知れた。
- ・ いろんなことについて知れて、実験をして楽しかった。

■こどもエコ・ワークショップ

【大人】

- ・ ワークショップに参加して子どもが学ぶ機会になった。
- ・ 楽しみながら学ぶことが出来たので良かった。

【子ども】

- ・ 楽しく家づくりができた。ありがとう。
- ・ 色々な材料があったから。

■廃材を使ってオリジナルプレートをつくろう

【大人】

- ・ 初めて参加したけど凄く分かりやすく楽しかった。
- ・ 普段できない様々な体験や学びを有難う。

【子ども】

- ・ 色の砂が楽しかった。
- ・ 汚いを実際に観察ができ、そして完成した肥料を見ることが出来たから。

■家族で学ぶ！熱中症対策セミナー～からだをまもる水分と塩分のひみつ～

【大人】

- ・ 分かりやすい内容で勉強になった。
- ・ まだ知らないことも多く色々勉強になった。

【子ども】

- ・ 熱中症について分かった。
- ・ 今まで知らなかったことも知れた。

■環境にも肌にもやさしい石鹸を使って手洗い実験をしよう！

【大人】

- ・ 詳しく丁寧に教えてもらえてとても楽しかった。
- ・ 子どもが恥ずかしそうでしたが、手を洗おうと思ういいきっかけになったと思う。

【子ども】

- ・ 手洗いの仕方を教えてもらったから。
- ・ 楽しかった。

■冷たさキープ！アルミ付きプチプチ®でペットボトルホルダーを作ろう！

【大人】

- ・ ワークショップが楽しかったから。

【子ども】

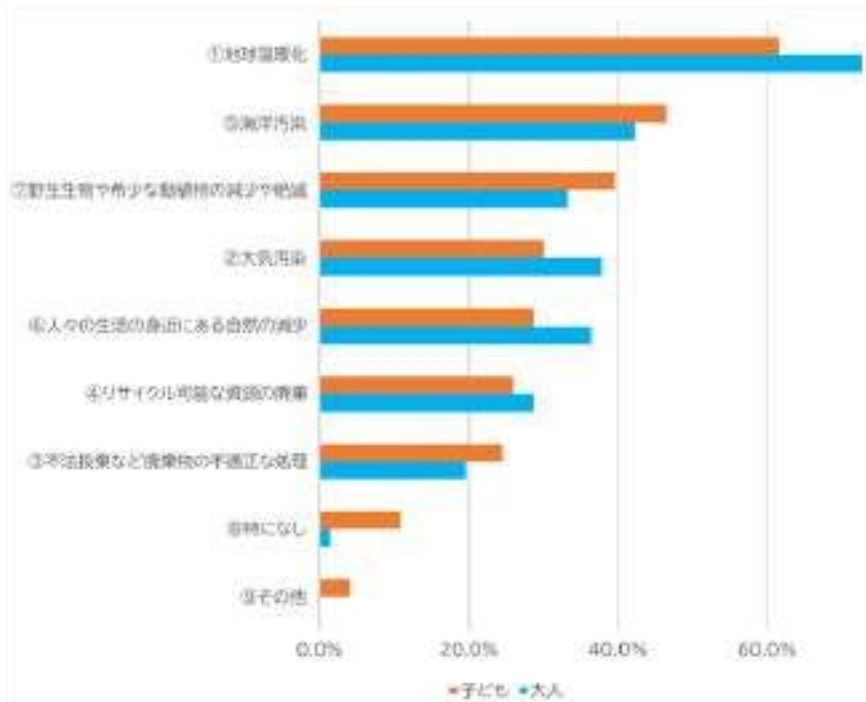
- ・ プチプチペットボトルホルダー作りが楽しかった。

7. あなたの身の回りの環境についてどのように感じていますか

種別	①良くなっている	②やや良くなっている	③やや悪化している	④悪化している	⑤無回答
大人	12.1%	43.9%	31.8%	7.6%	4.5%
子ども	26.0%	34.2%	19.2%	5.5%	15.1%

8. 現在、どのような環境問題に関心をお持ちですか。(いくつでも)

種別	①地球温暖化	②大気汚染	③不法投棄など廃棄物の不適正な処理	④リサイクル可能な資源の消費	⑤海洋汚染	⑥人々の生活の身近にある自然の減少	⑦野生動物や希少な動植物の減少や絶滅	⑧特になし	⑨その他
大人	72.7%	37.9%	19.7%	28.8%	42.4%	36.4%	23.2%	1.0%	0.0%
子ども	61.6%	30.7%	24.7%	26.0%	46.6%	28.8%	29.7%	11.0%	4.1%



8-1. 「8」の質問で「その他」を選択された方はご記入ください。

- ・日本ミツバチが減少している。
- ・砂漠化による土の減少
- ・海水温が上昇し海洋生物がおかしくなっている。
- ・海藻も少なくなっており海洋生物の産卵場所も減っている

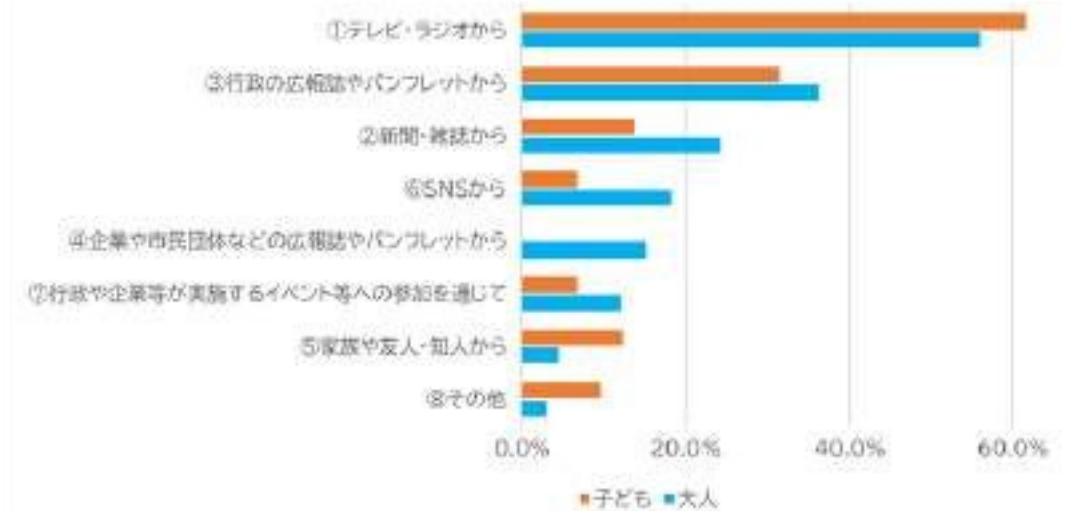
9. 環境問題等に関する情報はどのように入手していますか。(いくつでも)

【大人】

①テレビ・ラジオから	②新聞・雑誌から	③行政の広報誌やパンフレットから	④企業や市民団体などの広報誌やパンフレットから	⑤家族や友人・知人から	⑥SNSから	⑦行政や企業等が実施するイベント等への参加を通じて	⑧その他
56.1%	24.2%	36.4%	15.2%	4.5%	18.2%	12.1%	3.0%

【子ども】

①テレビ・ラジオから	②新聞・雑誌から	③学校や幼稚園が配布するチラシやパンフレットなどから	④家族や友達・知り合いから	⑤SNSから(記入)	⑥市・区や企業などが実施するイベント等に参加して	⑦その他(記入)
61.6%	13.7%	31.5%	12.3%	5.5%	6.8%	9.6%



9-1. 「9」の質問で「SNSから」を選択された方は具体的に記入してください

- ・X(旧Twitter) ・インスタグラム ・FB(フェイスブック) ・WEB

9-2. 「9」の質問で「その他」を選択された方は具体的に記入してください

【大人】

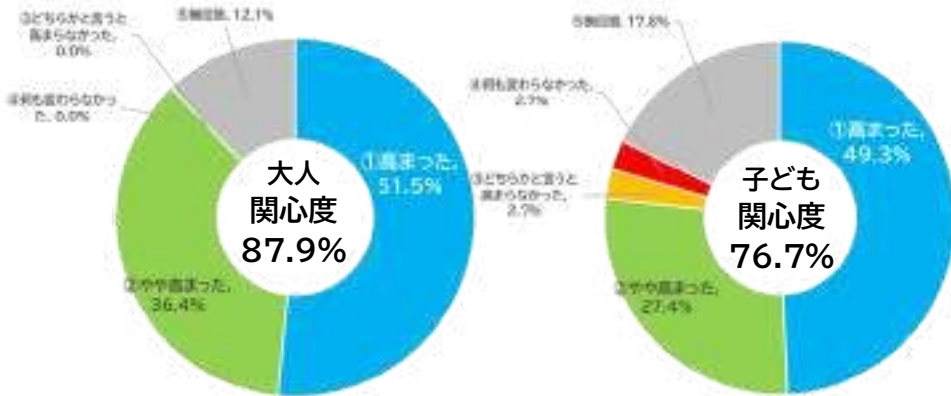
- ・小学校

【子ども】

- ・自然環境専門図書館
- ・学校の先生が教えてくれた。
- ・自分で知ってたから。
- ・社会で習ったから。(学校の授業)
- ・マンガ

10.「環境フェスティバルふくおか2025」に来場(参加)して、以前よりも環境問題等への関心が高まりましたか

種別	①高まった	②やや高まった	③どちらかと言うと高まらなかった	④何も変わらなかった	⑤無回答
大人	51.5%	36.4%	0.0%	0.0%	12.1%
子ども	49.3%	27.4%	2.7%	2.7%	17.8%



11.「10」の質問に回答された理由を教えてください。

【大人】

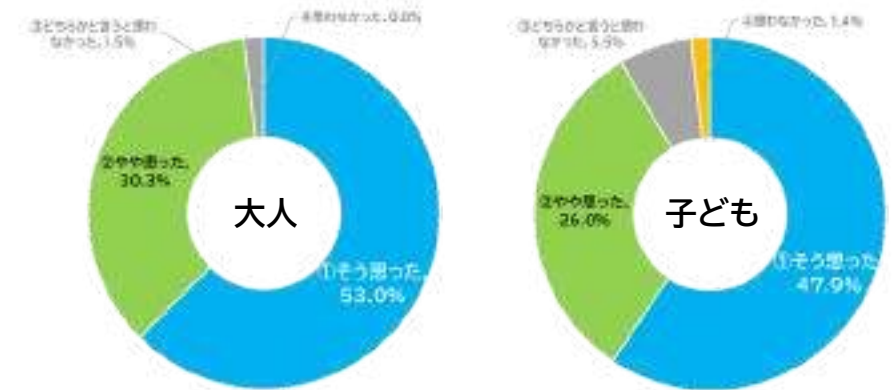
- ・ 生き物が人間のせいで数が減っていくという現実を改めて学べたから。
- ・ 身近にもっとできることがある。
- ・ 福岡で活動されている団体を具体的に知ることができたから。
- ・ 人口芝が海に流れているという事を知ったから。
- ・ ハチが私たちの生活と密接にかかわっていることを知ったから。
- ・ 電気代の減らし方や節電について知れたから。
- ・ 色々なリサイクルの方法があることが分かったから。
- ・ 問題点が何かを知ることが出来たから(熱中症になるのも地球温暖化野影響があったなど)
- ・ 自身の私生活を振りかえり、環境保全についてもっと協力出来ると思ったから。

【子ども】

- ・ 生き物がいなくなるのが嫌だから。
- ・ 話を聞いて少なくなっている生物がいると知ったから。
- ・ 家づくりを通して、エコに温かく暮らす工夫を考えたので。
- ・ 自分が知らないことを知れたから。
- ・ この先、陸でも海でも生物に悪影響が広がっていき、食文化にも影響が出ると思ったから。
- ・ もっと環境をよくしていきたいから。
- ・ 地球がどうなっているのか知りたいと思ったから。

12.「環境フェスティバルふくおか2025」に参加して、以前よりも節電など「環境にやさしい行動」に取り組みたいと思いましたか

種別	①そう思った	②やや思った	③どちらかと言うと思わなかった	④思わなかった	⑤無回答
大人	53.0%	30.3%	1.5%	0.0%	15.2%
子ども	47.9%	26.0%	5.5%	1.4%	19.2%



13.「12」の質問に回答された理由を教えてください。

【大人】

- ・ 何気なくじゃ取り組みないと思ったから。
- ・ 温暖化を止めたいから。
- ・ 参加して意識づけが高まったから。
- ・ 海の生き物のがCO2によって影響を受けていることを知り、環境にやさしい行動と思えたから。
- ・ 子どもが大きくなったときに住みやすい環境であってほしいと思ったから。
- ・ 意識することでより分別や無駄を防ごうという気持ちになった。
- ・ 自分たちのためにも少しずつやれることをやる必要があると思ったから。
- ・ 地球の環境が自身の心がけて良くなる可能性を感じたため。
- ・ 既に取り組みされている多くの事例を知ったので参考にできると思ったから。

【子ども】

- ・ 簡単に取り組める行動もあると知れたので。
- ・ 水の出しっぱなしはダメだと教えてもらったから。
- ・ 家族のためでもあるから。
- ・ 今のままでは人間にも自然にもよくないと思ったので。
- ・ 年々費用も上がっていて環境も悪くなっていくので自分の中でも出来ることをしたい。
- ・ 地球がからっぽになったら困るから。
- ・ 自分の行動によって少しでも環境をよくできたらいいなと思ったから。

14. 感想があればご記載ください。(大人)

- ・ たくさんの他の親子さんとスタッフの方と楽しみながら学んで楽しかったです。
- ・ 下準備など大変だったと思います。おかけ様で安全に楽しく過ごすことが出来ました。
- ・ 環境に対して考えている人と全く考えてなく、ポイ捨てする人がいる差が縮まればいいと思う。
- ・ スタッフの皆さん明るく楽しく感じが良かったです。ありがとうございました。
- ・ 小4の娘も楽しいだけでなくエコやリユースに興味を持ってました。
- ・ 子どもたちが楽しめて学べるイベントなのでありがたいです。
- ・ 手洗いをなめてました。今後きちんと手洗いをしていきます。
- ・ 良い機会をありがとうございました。

主な内容分類(複数該当あり)

- ・ 楽しかった・よかったなど(7件)
- ・ ありがとう・感謝など(10件)
- ・ 子どもの学び・親子で楽しめた(3件)
- ・ スタッフ対応の良さなど(3件)
- ・ 環境への気づき・行動意識など(3件)
- ・ その他1件

特徴的なコメント

「楽しかった」「とてもよかった」「素敵な企画だった」などと高く評価する声が多く見られた。「環境への意識が人によって差があるので縮まると良い」「手洗いの大切さを再認識した」など、イベントをきっかけに行動変容を意識した感想も見られた。また、「来年もよろしくお願いします」といった継続開催を望む声も多く、総じて満足度が非常に高いことがうかがえた。

参加者からの自由記述では、すべてのコメントがポジティブな内容で、特に「楽しかった」「学びがあった」「貴重な体験だった」といった満足度の高さを示す声が多く寄せられた。また、「子どもがエコやリユースに興味を持った」「今後意識して生活したい」といった行動変容につながる記述も見られ、イベントが単なる体験に留まらず、家庭や日常へ意識を広げる役割を果たしたことが確認できた。さらに、「来年も参加したい」「継続してほしい」といった声も多く、継続実施に対する期待も伺えた。

14. 感想があればご記載ください。(子ども)

- ・ バックがたのコンポストがあることがびっくりしました。
- ・ たのしいことができたし、いっぱい話せたのでうれしかった。
- ・ かんきょうにやさしい行動をしようと思った。
- ・ 一酸化炭素の電気と通常の電気はどうちがうのか思った。
- ・ ありがとうございました。
- ・ いっぱいがんばるぞ。
- ・ 昔みたいな海の中にもどってほしい
- ・ たのしかった。
- ・ 明日プチプチBOXみてみたい。

主な内容分類(複数該当あり)

- ・ 楽しかった・うれしかったなど(8件)
- ・ ありがとう・感謝など(2件)
- ・ 学び・環境意識の変化など(2件)
- ・ 質問・知的興味など(2件)
- ・ もっとやりたい／行ってみたいなど(2件)
- ・ 企画への改善・気づきなど(1件)
- ・ 環境への願い(1件)

特徴的なコメント

「楽しかった！」の声が圧倒的、またイベントをきっかけに、自然環境について考えたり、行動しようという前向きな感想が見られた。さらに普段見ないものに触れて、新しい発見をした様子が伺えた。その他体験を通じて、子どもたちなりの「もっと知りたい」が生まれている点も印象的。

参加した子どもたちからは、「楽しかった」「またやりたい」といった肯定的な声が半数以上を占め、イベントが楽しみに基づく参加体験として機能していたことが確認できた。また、「昔みたいな海に戻ってほしい」など、環境に対する気づきや行動意欲を示すコメントも多く、学びが感情と結びつき、継続的な意識変容につながっていることが読み取れた。全体として、「楽しみながら学ぶ」スタイルが、環境理解と行動意識の向上に寄与したことが確認できる結果となった。

■対象者	啓発イベント、またはツアー・ワークショップイベントに参加した方	■回答人数	123名
■回答方法	電子フォームによる回答		

1.年齢

①10代	②20代	③30代	④40代	⑤50代	⑥60代	⑦70代以上
1.6%	5.7%	25.2%	43.9%	10.6%	7.3%	5.7%

2.「環境フェスティバルふくおか2025」にはどなたと参加されましたか

①1人で	②家族と (親子、親戚など)	③友人・知人と	④その他
27.6%	59.3%	11.4%	1.6%

2-1 「設問2」で「④その他」と答えた方はご記入ください

会社の人、職場の人、

3.「環境フェスティバルふくおか2025」への来場(参加)をきっかけに環境問題等について考えることが増えましたか

年度	①増えた	②変わらない
2024年	91.4%	8.6%
2025年	94.3%	5.7%

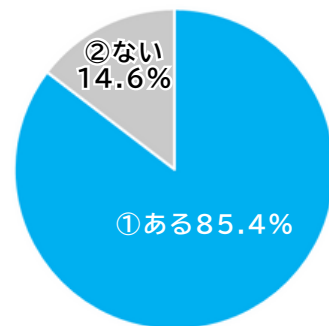
「①増えた」と回答した方が昨年度より2.9%増加

4.「環境フェスティバルふくおか2025」への来場(参加)をきっかけに新たに始めた「環境にやさしい行動」はありますか

①ある	②ない
85.4%	14.6%

8割以上が「①ある」と回答

イベントの来場後、継続的に環境を意識していることが示されている。



「4」の質問で「ある」と回答した方にお尋ねします。

具体的にどのような行動を実践しているのか教えてください

- ・エコバッグを常に持ち歩き、レジ袋を辞退するようになった。
- ・外出先でペットボトルを購入せずにマイボトルを持参している。
- ・ごみ・資源ごみ(紙、雑紙、古紙、ビン・缶・ペットボトル、トレー等)の分別を意識している。
- ・リサイクルボックスや回収拠点へ持ち込むようになった。
- ・古着・子ども服・おもちゃ・ランドセル等を捨てずにリサイクルショップに持って行っている。
- ・不用品をすぐ捨てず、再利用や譲渡の可能性を考える。
- ・梱包材や緩衝材を再利用・回収に出している。
- ・賞味期限・消費期限を意識して購入している。
- ・食品の買いすぎを防ぎ、使い切る工夫をしている。
- ・冷蔵庫内の食材やストック品を活用した献立づくりをしている。
- ・ペットボトルキャップでキーホルダーを作るなど子供と楽しくリサイクルしている。
- ・バッグ型コンポストを購入して、生ごみをコンポストに入れて肥料を作っている。
- ・花を植えて家庭菜園を始めた。
- ・電気をこまめに消して節電している。
- ・水を節約するためにお風呂に間を空けずに入っている。
- ・車移動でなく、可能な範囲は自転車や徒歩で移動する。
- ・環境に配慮した洗剤を使っている。

「4」の質問で「ない」と回答した方にお尋ねします。その理由を教えてください

- ・日頃から取り組んでいるから。
- ・新たに始めたことがない。
- ・元々やっている事ばかりだったので。
- ・いままでもマイバッグを持ち歩く等、意識をしていたから。
- ・環境問題は日常生活なのでいつも通りに生活している。
- ・その時は強く思ったが、実行にはうつせなかった。
- ・日頃から節水や節電エコな取り組みを実践している。
- ・普段から意識しているから。
- ・日々の忙しさでどうしても忘れてしまうため。

5.「環境にやさしい行動」を実践及び継続するための良いアイデアがあれば自由にご記入ください。

■マイボトル・マイバッグ等

- ・ ペットボトルではなく、マイボトルや水筒を持ち歩く。
- ・ エコバッグを常に持参する。
- ・ レジ袋を購入しない。
- ・ 使い捨てカイロではなく、充電して繰り返し使えるカイロを使う。
- ・ 容器や包装が最小限の商品を選ぶ。

■ごみ削減・分別・リサイクル

- ・ ごみを正しく分別する。
- ・ ごみ出し日をカレンダーや通知で管理する。
- ・ リサイクル専用BOXを自宅に作る。
- ・ リサイクルスポット・回収場所を増やしてほしい。
- ・ 海のごみを拾って買取する制度。

■フードロス対策

- ・ 食べ残しをせず、食べられる量だけ注文する。
- ・ 賞味期限をノートや冷蔵庫メモで管理する。
- ・ 必要な量を確保・消費・保存すること。

■省エネ・節電・節水

- ・ 使わない電気はこまめに消す。
- ・ エアコンの設定温度を節電に対応している温度にする。
- ・ 冬は温かい服装・温活で節電。
- ・ 水を大切にという気持ちを常にもつ。

■ポイント・インセンティブ施策

- ・ 環境の取り組みをしたらポイントプレゼントや何かが当たるなど。
- ・ リサイクル量(重さ)に応じたポイント付与。
- ・ 義務化するのではなく、良い行動をすればポイントがもらえて景品と交換ができる等の特典があればやる気につながる。
- ・ 既存ポイントアプリとの連携。
- ・ 毎日続けられるエコアクションアプリがあればやってみたい。

■子ども・家族での取り組み

- ・ 子どもと一緒に分別・料理・買い物をする。
- ・ 環境ラベルやマーク探しを遊び感覚で行う。
- ・ 子どもたちと月に一度「不便な日チャレンジデイ」を設け、電気や水を使わずにキャンドルの明かりで食事をしたり、ためた水で皿を洗ったりする。
- ・ 家族で定期的に環境について話す。

■イベント・地域・企業連携

- ・ 環境フェスティバル楽しかったのでまた開催して欲しい。
- ・ 街単位の小さなイベントを商店街・企業とコラボ開催したらいいと思う。
- ・ 来場したユーザーとの継続的な接点の構築(SNSなど)。

■リユース・リサイクル

- ・ 古着やおもちゃ、絵本など、交換会のような形でお下がり回せたら嬉しい。
- ・ 着なくなった服をフリマで売りたいのでそのようなスペース確保とイベントを毎月してもらえると嬉しい。
- ・ 使わなくなったら捨てるのではなく、必ず誰かが必要とすることを考えて行動を取る。

■意識づくり・啓発

- ・ 環境に優しい商品・メニューに「環境ニコニコマーク」をつける。
- ・ 部屋に馴染んで読みたくなるおしゃれな啓発ポスターを貼る。
- ・ SNSで「環境にやさしい行動」の投稿を募集し、定期的に表彰する。
- ・ 良い行動を褒めてもらえる・承認される場を増やす。

■自然との関わり

- ・ 植樹する。
- ・ ベランダで花や野菜を育てたりする。
- ・ 自然に親しむ(川遊びや山登り等)事が増えれば、自然を大事にしたいなと思う人が少しずつ増えてくると思う。

環境フェスティバルふくおが2025

■A4チラシ

チラシは福岡市内の全小学校に配布した。チラシには切り欠けと音声コードを取り入れ、文字情報だけでなく音声でも内容を確認できる工夫を加え、より多くの方に情報が伝わるよう配慮した。



■HP



■フリー広告

いこーよ



ファンファン福岡



■SNS



■社名板サイン(1200×300)各1枚(一部抜粋)



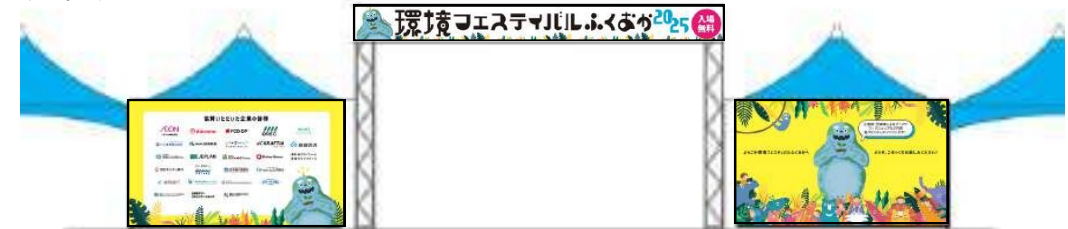
■入場ゲートタイトルサイン(6000×600)1枚



■入場ゲートパネル(左右) (3600×2100)各1枚



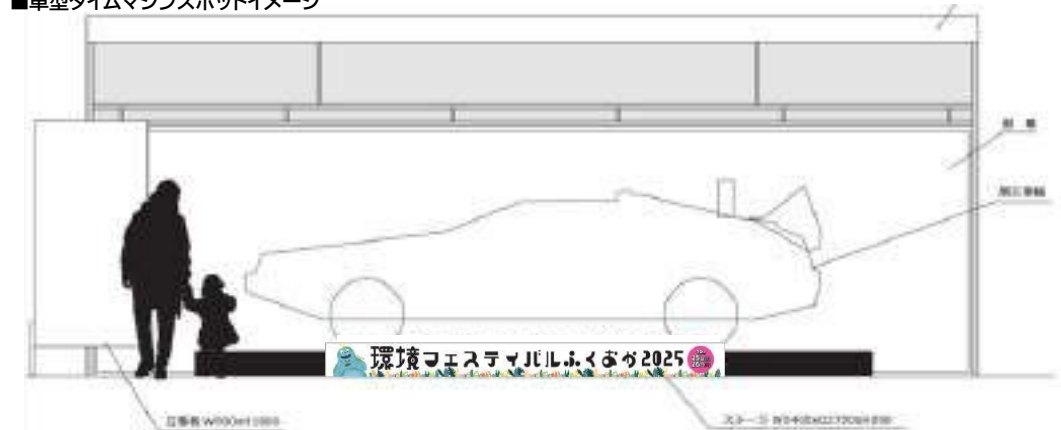
■ゲートイメージ



■車型タイムマシンスポットタイトルサイン(3600×300)1枚



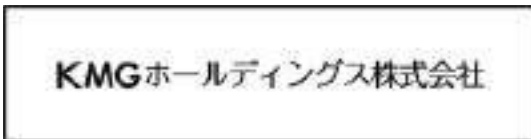
■車型タイムマシンスポットイメージ



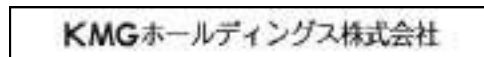
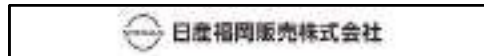
環境フェスティバルふくおが2025

7.制作物一覧

■次世代自動車 社名板(1200×300)各1枚



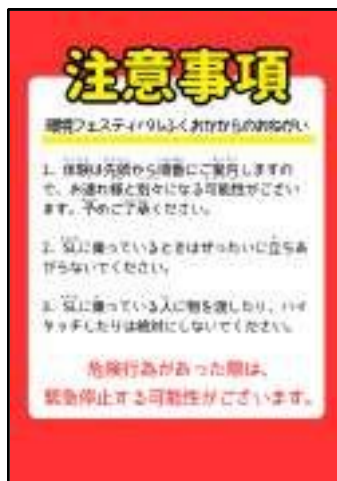
■次世代自動車 フットサイン(900×100)各1枚



■未来エネルギー体験カフェ サイン450×600各1枚



■ミニSLサイン(A3)



■ツアー・ワークショップサイン(A3)



■クイズスタンプラリークイズ(A3)



■クイズスタンプラリー台紙



■クイズスタンプラリーサインA3



■ガラポン景品一覧450×600



■アンケートQRサイン(A3・A4)



■ステージバックパネル(5400×2400)



■ステージイメージ



■ステージスケジュールサイン(900×1800)



■環境行動賞看板(縦)900×1800



■環境行動賞看板(横)1800×450



■ステージイメージ



■会場マップ1800×H1800



■環境行動賞受賞者名簿パネルB2(515×728) 各1枚

